

# 令和4年度第2回狩猟免許試験アンケート結果

分析

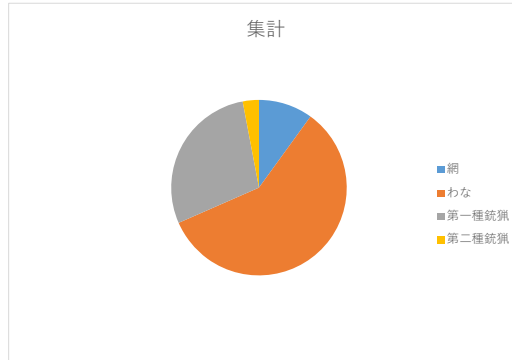
アンケート配布数261枚、回答数226枚

アンケート回収率	配布数(枚)	回答数	回答率
	261	226	86.6%

以下回答者226名の内訳

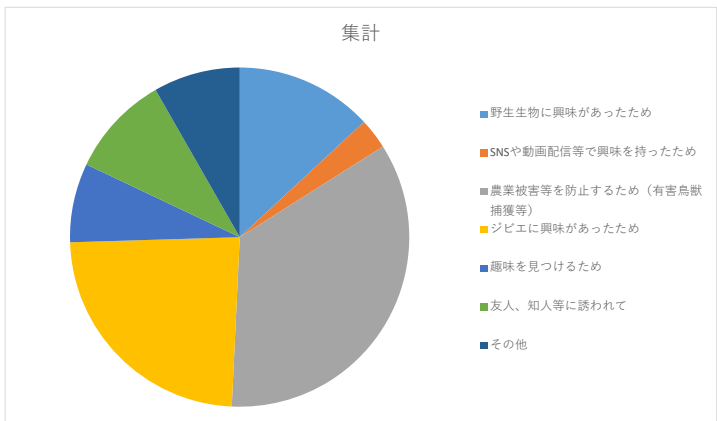
Q1. あなたが今回の試験で受験した狩猟免許の種類は何ですか。

免許種別	取得者(人)	
網	30	10.0%
わな	176	58.5%
第一種銃猟	86	28.6%
第二種銃猟	9	3.0%
<b>総計</b>	<b>301</b>	



Q2. あなたが狩猟免許を取得しようと考えた理由を教えてください。(複数回答可)

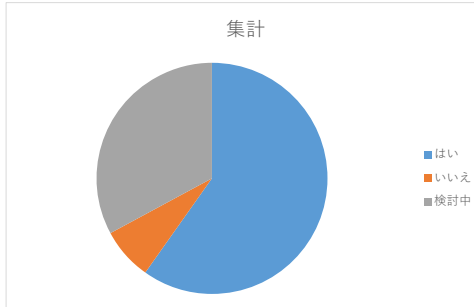
理由	回答数(件)	
野生生物に興味があったため	54	13.1%
SNSや動画配信等で興味を持ったため	12	2.9%
農業被害等を防止するため(有害鳥獣捕獲等)	143	34.7%
ジビエに興味があったため	98	23.8%
趣味を見つけるため	31	7.5%
友人、知人等に誘われて	40	9.7%
その他	34	8.3%
<b>総計</b>	<b>412</b>	



Q3. Q2でお答えいただいた狩猟免許を取得しようと考えた理由について、エピソードがあれば教えてください。別紙のとおり

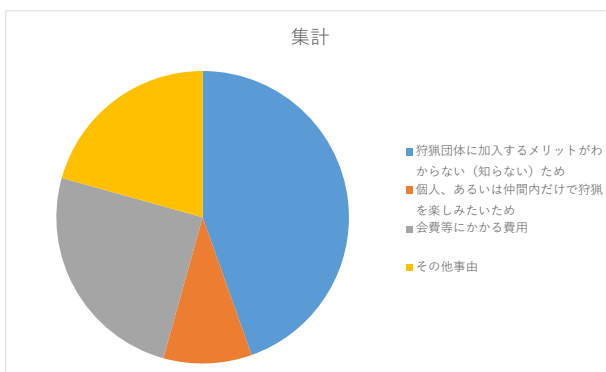
Q4. 今後猟友会等の狩猟団体に加入したいと思いますか。

回答	回答数(件)	
はい	131	59.8%
いいえ	16	7.3%
検討中	72	32.9%
<b>総計</b>	<b>219</b>	



Q5. Q4で「いいえ」、「検討中」と回答された方について、加入を考えていない、または検討中である理由を教えてください。

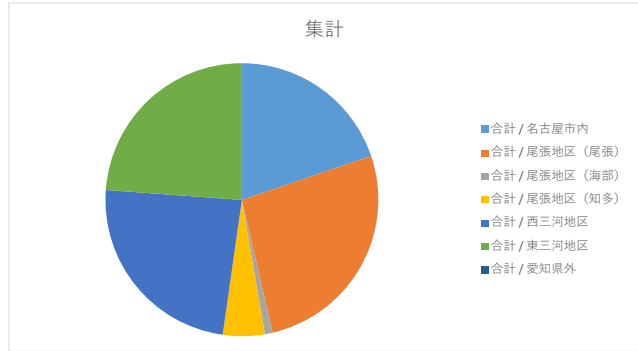
理由	回答数(件)	
狩猟団体に加入するメリットがわからない(知らない)	41	44.6%
個人、あるいは仲間内だけで狩猟を楽しみたいため	9	9.8%
会費等にかかる費用	23	25.0%
その他事由	19	20.7%
<b>総計</b>	<b>92</b>	



Q 6. あなたのお住まいの地区を教えてください。また、今後出猟する場合、どの地区に行きたいと思いますか。

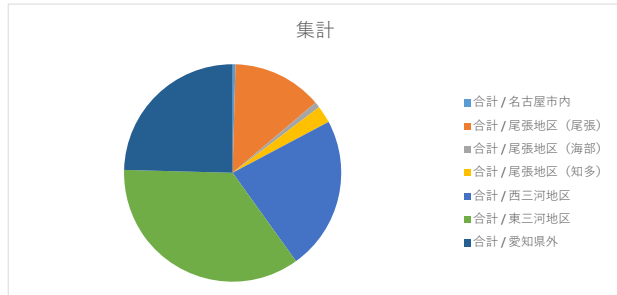
**在住地区**

合計 / 名古屋市内	44	19.8%
合計 / 尾張地区 (尾張)	59	26.6%
合計 / 尾張地区 (海部)	2	0.9%
合計 / 尾張地区 (知多)	11	5.0%
合計 / 西三河地区	53	23.9%
合計 / 東三河地区	53	23.9%
合計 / 愛知県外	0	0.0%
<b>総計</b>	<b>222</b>	



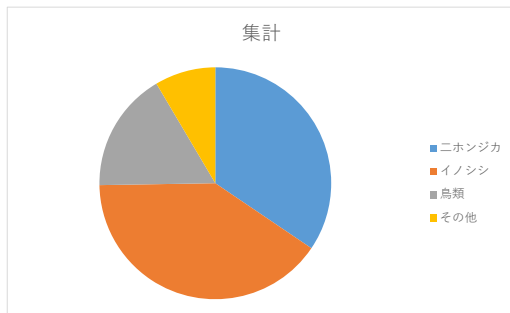
**出猟希望地区 (複数回答可)**

合計 / 名古屋市内	1	0.4%
合計 / 尾張地区 (尾張)	31	13.4%
合計 / 尾張地区 (海部)	2	0.9%
合計 / 尾張地区 (知多)	6	2.6%
合計 / 西三河地区	53	22.8%
合計 / 東三河地区	82	35.3%
合計 / 愛知県外	57	24.6%
<b>総計</b>	<b>232</b>	



Q 7. 今後狩猟してみたい狩猟鳥獣を教えてください。

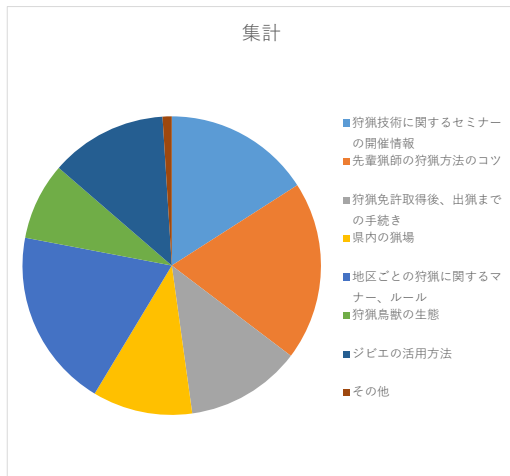
獲物	回答数 (件)	
二ホンジカ	146	34.4%
イノシシ	171	40.3%
鳥類	71	16.7%
その他	36	8.5%
<b>総計</b>	<b>424</b>	



Q 8. 今後狩猟を行うにあたり、愛知県の行政機関や猟友会等の狩猟団体から情報発信がある場合、どのようなものを希望しますか。

(1人につき上位3件を選択。回答数が2件以下、4件以上の場合も有効回答として扱う。)

希望する情報	回答数 (件)	
狩猟技術に関するセミナーの開催情報	97	15.9%
先輩猟師の狩猟方法のコツ	118	19.4%
狩猟免許取得後、出猟までの手続き	76	12.5%
県内の猟場	66	10.8%
地区ごとの狩猟に関するマナー、ルール	118	19.4%
狩猟鳥獣の生態	51	8.4%
ジビエの活用方法	77	12.6%
その他	6	1.0%
<b>総計</b>	<b>609</b>	



## 令和4年度第2回狩猟免許試験アンケート結果

Q3、Q2でお答えいただいた狩猟免許を取得しようと考えた理由について、エピソードがあれば教えてください。

- ・イノシシに斜面を崩されて困っていた。ハクビシンによる建物内のフン、桃を食べられる等。
- ・モンスターハンターが好きで、本物の狩りをしたくなった為。
- ・キャンプ場周辺の保全
- ・2022の夏に郡上八幡へ狩猟体験に行った講師より狩猟について説明頂き、教えて頂く中で意思が固まったため
- ・私はトレッキングをするのですが、その際出会う野生動物に興味を持ったのがきっかけとなり、又は趣味の料理からジビエ料理に興味をいただいたのが理由となります。
- ・元自衛官で現在予備自衛官です。医療資格を保有している為、10年間資格を取得するか考えていました。（命について）趣味のキャンプで田舎に行くと夜間シカが何頭も畑、田んぼに現れ初めて農業被害の現実を知り免許取得しようと思いました。今後第一種銃猟も目指します。
- ・ジビエの勉強会に出席したのがきっかけです。
- ・イノシシ、シカの被害を防止したい
- ・猟友会の畏の見回りで140kgのイノシシをやりで殺しました大変だった為、銃を持っておきたいと思いました。
- ・定年後の運動と趣味を兼ねて
- ・動画を見て興味をもった。
- ・これから肉が高騰すると思っているから。
- ・農業被害が拡大している環境を知り、また駆除物を有効利用できる体制を構築しようと考えた為
- ・父が60年猟をしているので一緒に歩き勉強したかった。
- ・災害時、食に困りたくないと思った為。
- ・実家の農地の獣害をきっかけに狩猟免許取得の活動を始めた。
- ・アウトドアやキャンプが好きで料理をよくする機会があり肉料理を普段と違うメニューを考えていた所、ジビエに興味をもち狩猟を自らやってみようと考えました。
- ・自分の妻が、将来里山で農作業をやりたいと目標を持ったことで、狩猟の技術が約に立つのではと考えたため。
- ・昔食べたばたん鍋が美味しくて…
- ・実家の周囲隣接する田畑が全て金網で囲まれている。家の入口も防犯策があり、毎回開閉が必要となっていることから、何とか害獣対策をしたいと考えたため。
- ・農業被害等を防止する為必要 過疎化が進み、一つ上の世代が60代、被害を防ぐ為には継ぐ者がいないといけないうい、猟友会だけに頼る訳にはいかないので、自発的に取得をした。
- ・高齢化で困っていたから
- ・大学の授業で学んだ内容を生かせるのであればと思い、受験した。
- ・H28年4月より豊橋市農業支援課の御指導頂き鳥獣駆除会を立ち上げました。H28年～R4年までに137頭の有害駆除を行いました。お陰様で地域に貢献と住民の方との絆が強まりました。
- ・野生動物の肉がとても美味だったので
- ・おじなどに、シカ、イノシシ肉をいただき、美味しかったから。
- ・害獣が土に埋められていると知ったので
- ・「猟師の肉は腐らない」小泉武夫さんの本を読んだ。
- ・農林業被害が県内でも多いと聞きボランティア等活動をしたかった。
- ・以前から興味があり、自治会で有害鳥獣捕獲部会への誘いがあった為。
- ・散弾の弾がキャベツ等に入り込み、苦情があるため網でなら苦情はでないと思ひ。
- ・近年、猪、ハクビシン等、獣害が多く発生した為。
- ・猪、ハクビシンが多くなったから
- ・イノシシ、ハクビシンの駆除
- ・農作物被害防止のため
- ・野生のイノシシが増えてきていて、生活圏内に入ってきているのを体感します。「誰かがやらねば」という先輩の声に背中を押されました。
- ・最近になってイノシシが畑を踏み荒らす為
- ・農作物をいのしし、ハクビシンにあらされるから
- ・畑をイノシシに荒らされた為
- ・畑をイノシシにあらされる。
- ・地域駆除会のメンバーから農作物被害の多い事を聞かされ又、駆除会への入会を進められたことから、協力できたらと思いました。
- ・イノシシに里芋を10アール位食べられタケノコの頭をシカに食べられ身はイノシシに食べられスイカをアライグマからハクビシンに食べられたので免許を取ろうと思いました
- ・近所の人がやっている
- ・田植え後、水面いっぱいで大半のなえをたばられてしまいこのことからわなで駆除してもらって被害が少なくなったので自分もって地域の人に役立ちたいと思った。
- ・自宅うらの放置された畑に鹿がよくあらわれる。自宅が猟場なんてレアじゃないか？と思って免許取得を決意。
- ・畑がイノシシに荒らされた
- ・自分が営農する田んぼに鹿被害が出ているため。
- ・妻の実家が田舎の為、いつかは必要になると感じた為。
- ・なんとなく
- ・アウトドアが大好きな自分にとって究極のアウトドアであると思われた。
- ・父親が取得していて、手伝っていたため。
- ・以前イノシシの解体を手伝った事により興味を持ちました。
- ・苦勞して作ったトウモロコシが全て動物に食べられてしまった。おそらくサルは仕業だったが、農業被害を防ぐには…を考えた。少しでも地域の約に立ちたかった。
- ・一生物の趣味が欲しかったため。守山区でイノシシが発生したニュースを見て生態に興味を持ったため。
- ・カラス被害が多く困っていたから。
- ・ニホンジカによる杉松食害の防止
- ・果樹園で被害があり果物や木が折られるなどの被害がひどいため、イノシシ、ハクビシン、イタチ、カラスなど
- ・畑を荒らされた
- ・狩猟体験ツアーに参加がきっかけ。
- ・私の養父は北海道で農業を営んでいるが、毎年鹿の被害を受けている。地元のハンターも高齢化し、不安を感じているとのこと。私も地元愛知でこまっている農家の方々の役に立ちたいと思った。
- ・半自給自足の生活に興味があり、しかも農業被害をくい止めるという人の約に立つことでもあるので取得を思い立った。
- ・天然のカモを食べた感動したから
- ・実家に田畑がありますが、イノシシ、ニホンジカ他の獣が増えてきたため。
- ・イノシシにより、田畑が荒らされる為駆除したいと思い取得しようと考えました。
- ・毎年稲作を行っているが、いのししによる被害にあい、痛手を受けている。電気柵で対抗しているが、あまり効果がない。
- ・今まで田畑を電気柵で囲ってましたが、やはり坊業だけでは限界だと感じたから。
- ・友人が猟友会で有害鳥獣の駆除を毎年実施していて、その話をよく聞きます。また、狩猟免許を取得し、一緒に駆除をやろうと。
- ・銃の現所有者が高齢で銃を手放したいとのことだったので私が銃の所有を引き継ぐ形になりました。
- ・昨年11月に自宅庭をイノシシに荒らされた。人体に影響はなかったが、恐怖を感じた。狩猟免許を取得して、正しい知識を身につけ、家族を有害鳥獣から守るために受験した。
- ・最近、家の庭近くまで猪が来るようになり、危険を感じるようになった。休耕田畑の増加や、ハンターの減少が原因と知り、狩猟免許を取得しようと考えました。
- ・畑にいのししがいる
- ・我家で育てている農作物を毎年荒らされて困っていた為。
- ・駆除業者として必要性にせまり

## ・仕事

・マンガ「山賊ダイアリー」を読んでやってみたくと思った

・いとこが三河山間部で農業もやっており獣の被害が多いという話を聞いた。10年くらい前はそれほどではなかった。実際畑の足跡を見て多さに驚いた。

・鳥取県に住んでいた時、イノシシの農業被害を見て、自分になにか力になる事はないかと考えたのがきっかけです

・メディアやマンガ等で狩猟の世界を知り、SNSや動画で情報を得るようになっていくうちに自分も免許を取ろうと思いはじめました。狩猟イベントに参加し心理的距離感が縮まったのが大きかった。イベントで知り合った先輩方に詳しく話を聞けたのも良かった。

・故郷の農地が荒らされている。

・ハクビシン、ヌートリア、アライグマによる食害

・マンガで見たジビエ肉料理が美味そうだったため、興味を持った。

・調理師学校の時ジビエにかかわる授業があり、興味をもった。

・イノシシによる農作物特に※被害が増えてきたためなんとかしたくて及びジビエを食してみたかったから

・父から祖父が犬をつれて猟をしていたことを聞かされていて、私自身も子供のころから犬が好きで、銃にも興味があった。犬と銃は、祖父・父・私をつなぐキーワードのように思っている。ちなみに、父も自分が生きているうちは、犬を絶やすなど言っていない、犬が好きだった。

・仲間と田んぼを始めたが、イノシシの被害が少なくなかったため。

・地元猟友会のメンバーの方達の高齢化でハンター不足と聞いて自分で良ければ元々興味があった為今回受験しました。

・クレー射撃及び狩猟に興味があり免許を取得しました。

・20年位前に知り合いからいただいたシカ肉の美味しさが忘れられなくて鹿肉がどうしたら手に入るのか考えて少しでも身近にしたいと思ったため

・第一種取得済、猟のため豊田へ転居町内は銃禁であるが獣害があり、庁内の人に勧められてワナを受験しました。

・犬を飼ったため

・畑をあらされたり家の近くまで来ているので取得しようと思いました。

・山と山の空気が好きだから。友人が山に持っている畑をイノシシに荒らされると言っていたり、その他からイノシシや鹿の害獣被害があると知ったので協力したいのと、肉も食べたい。

・出身の山間部畑が冬季によく荒らされる為。対応等を講じるも変化がなく対応に苦慮している。

・実家の目の前の田畑にシカ、イノシシが出て田んぼを荒らされている現状その結果、米は良品化されず、野生動物達の居場所がなくなっているのも要因、山を守り、広葉樹を増やし、野生動物が住みやすい山へしていく。（共存していると言う事の認識強化）

・自宅で飼っている犬が、アレルギーが多く、鶏肉、牛肉を食べると口の周りやお腹が赤くなったので、色々調べていたら猪肉や鹿肉はアレルギーが出にくい事が分かったので、狩猟免許を取得し、ジャーキーを作ってみようと思った為。

・牡丹鍋が旨かった。

・元々、猟師という職業に興味があり、いつかは狩猟をやりたいと思ってました。動画配信サイト等で狩猟に関する情報をよく目にするようになり、私もアウトドアやジビエ料理を楽しんだり、農作物への被害防止に貢献したいと思い、この度チャレンジしてみました。

・カワウの漁業被害の甚大さにびっくりしたこと（アユ、アマゴ）（放流した魚の8割以上を食べられたと思われる地区があった。）

・所有の雑木林に年間を通して2、3日に1回、雨が降った翌日には必ず団体で来て行動し、荒らしまわって帰る現状を見て「わな」をしかけたいと思いました。

・行きつけのジビエ料理店があり、ジビエを自分で狩って食べたいと思ったから。

・農作物の被害を少なくするため